



株主の皆様へ

**CMP** 通信

2011年3月期 報告書  
2010年4月1日～2011年3月31日

中国塗料株式会社

証券コード：4617

# Ecology

環境との調和

# Innovation

世界的視野に立った技術革新

# Quality

高機能・高品質製品の開発

3つの視点から最先端技術で未来を見つめます。

社会の発展に結びつく高品質と高機能。その前提には、自然と人との調和に対する配慮が不可欠です。私たちは、Ecology、Innovation、Qualityという3つの視点から、常に技術の最先端で人と塗料を見つめます。

## Contents

ごあいさつ	1
当期の概況	2
分野別概況	3
連結決算ハイライト	5
当期の当社の活動	7
環境・社会への取り組み	9
連結財務諸表	10
連結貸借対照表	10
連結損益計算書	11
連結株主資本等変動計算書	11
連結キャッシュ・フロー計算書	12
会社概要	13
株式の状況	14
個別決算の概要	14
株主メモ	15



## ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

東日本大震災で被災された方々に、謹んでお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

当期(平成22年4月1日より平成23年3月31日まで)の当社グループの業績についてご報告申し上げます。

代表取締役社長

植竹正隆

当期における世界経済は、総じて緩やかな回復を維持しつつも、先進諸国の財政的制約や新興国の物価上昇といった地域毎の問題が顕在化したことに加え、中東・北アフリカ政情不安等の地政学的なリスクに揺さぶられ、非常に脆弱な基調で推移しました。

当社グループを取り巻く環境としましては、船舶分野では、日韓造船業が底堅い操業を維持した上、中国が大幅に建造量を伸ばしたことから、業界全体で高水準の竣工実績となりました。また、コンテナ分野では、世界的な荷動きの回復を背景に、コンテナボックス生産が期初以来ほぼ一貫して増加基調を続け、工業分野においても、低迷が続いていた国内市場で住宅建設を中心に底入れの動きが見られました。

市場環境が概ね堅調であった反面、原材料については原油や非鉄金属等の資源価格が騰勢を強め、銅が過去最高値を更新する等、非常に厳しい状況となりました。

このような経営環境の中、当期における当社グループの連結売上高は、主力である船舶分野では円高による目減りがあったものの、中国におけるコンテナの急回復により965億9千5百万円(前期比11.3%増)となりました。その一方、原材料価格が、企業努力によってカバーできるレベルを超えて上昇したことから、営業利益については88億2千3百万円(同11.7%減)、経常利益は91億1千4百万円(同11.2%減)となりましたが、当期純利益については、税金費用の減少により、57億1百万円(同5.1%増)となりました。

今後の当社グループを取り巻く経営環境としましては、船舶用塗料においては、過去の好況期に発注された船舶の建造が継続することに加え、世界経済の回復に伴い造船受注量も持ち直しを続けていることから、当面は底堅い需要が期待されるものと思われま。また、コンテナ用塗料についても、消費財等の海上コンテナ輸送が堅調に推移しており、今後も回復基調が続くものと見込まれます。こうした一方で、東日本大震災の当社製品市況や生産に対する影響が、どの程度の期間で収束するものか見通すことができない状況にあり、更には各国の金融緩和によって供給された余剰資金が、資源価格の高騰を通じ世界経済のかく乱要因となっていることから、先行きが非常に不透明な環境が続くものと思われま。

こうした中、当社グループといたしましては、国内においては被災された地域の復興に微力ながらもお力添えさせていただくとともに、代替原材料の使用や、顧客へ標準製品の採用を働きかけることなどによって安定供給に尽力する所存であり、またグローバルには各地の市場動向を見極め、環境・省エネ対応をはじめとする高付加価値・高機能製品の開発を続けるとともに、成長市場に経営資源を的確に配分するなど、各種の施策に取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

## 船舶用塗料

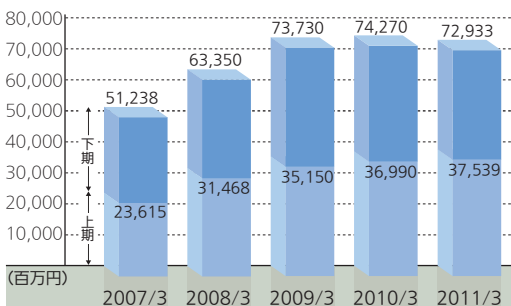


経済危機後の海上輸送を先導してきた中国の資源輸入が、反動減や自国産への切り替えにより足踏み状態となった一方、新興国の経済成長や欧米の個人消費の増加により海上コンテナ輸送が底堅く推移するなど、短期的な変動に揺れながらも海上輸送は全体として回復基調を維持しています。

その一方で、2010年には世界造船業界全体で前年比約2倍の新造船受注があったものの、海上荷動きの増加を上回るペースで新造船の竣工が続いており、船価ははじめ省エネ・環境対応等あらゆる面で受注競争は熾烈さを増しています。更には、東日本大震災が、造船や漁業関連産業などに与えた被害の深刻さは、今後の復興への道のりを極めて厳しいものとしています。

こうした中、当社といたしましては、従来にも増して省エネ・環境対応等の諸課題に対する対応力を高め、新造船市場はもとより、修繕船市場においてもなお一層の拡販を進めるとともに、被災地の復興に微力ながらもお力添えさせていただきたいと存じております。

船舶用塗料の売上高



## 工業用塗料

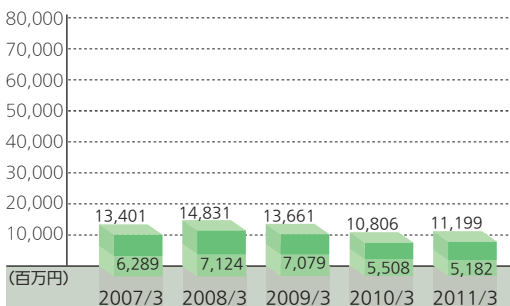


旺盛な建設投資が続くアジアをはじめとする新興国等海外市場での拡販により、当社工業用塗料市場によりやく明るい兆しが見えてまいりました。

また、国内市場でも住宅着工件数の持ち直しなど好材料が出始めていた矢先、東日本大震災により当社製品のユーザーでもあるインフラや住宅、プラント等に甚大な被害が発生し、各社の投資・補修計画が大幅な見直しを余儀なくされる事態に陥りました。このため、海外においては引き続き堅調な建設需要が見込めるものの、国内においては、震災の影響が直接的または間接的にどのように波及し続けるものか、明確な見通しが立たない状況となっています。

このような環境にあって、当社といたしましては当社事業を通じて被災地の復興に少しでもお役に立つべく尽力いたしますとともに、従前にも増してグローバルネットワークを駆使した成長市場への開拓を進める等、多角的な取り組みを継続してゆく所存です。

工業用塗料の売上高



## コンテナ用塗料

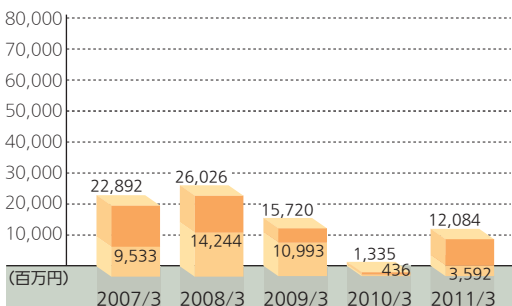


減速が懸念されていた欧米向け消費財輸送が、予想外に底堅く推移したことから、コンテナボックス生産も2010年年初に反転して以来、回復基調を維持し続けています。

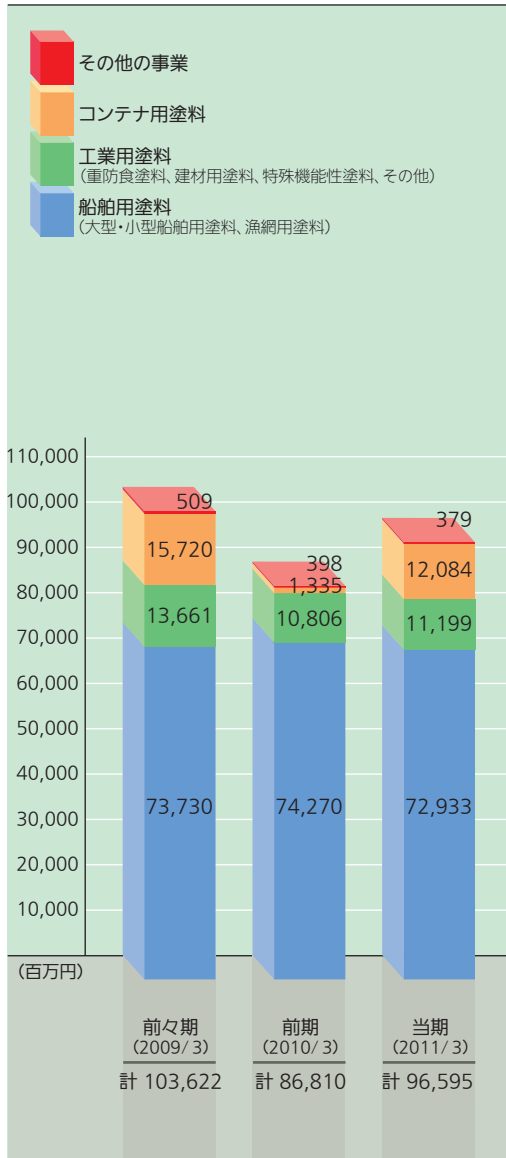
景気の影響を受けやすい生活関連物資や雑貨が積荷に占める割合が比較的大きい海上コンテナ輸送は、世界経済の動向に不安要素もある中、先行きに予断を許しません。貨物量の増加に比べてコンテナボックス供給が伸びてはいないことから、今後も当面は現況が持続するものと思われれます。

こうした状況下、コンテナ業界で引き続き高まっているVOC低減や水性化といった環境ニーズに対し、業界をリードする製品と塗装工法を開発・提案することにより、一層のシェア拡大を目指し尽力してまいります。

### コンテナ用塗料の売上高



### 分野別売上高

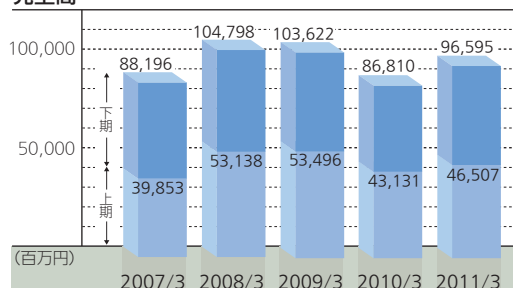


# 連結決算ハイライト

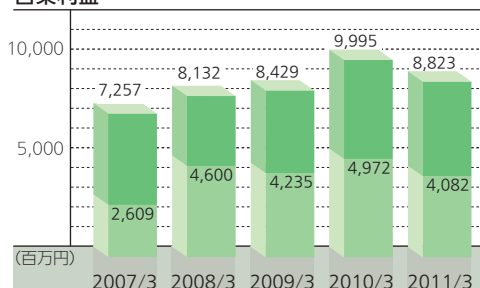
(単位：百万円)

科目	2009年3月期	2010年3月期	2011年3月期
売上高	103,622	86,810	96,595
営業利益	8,429	9,995	8,823
経常利益	7,899	10,268	9,114
当期純利益	5,031	5,422	5,701
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,074	14,290	1,252
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,634	△ 2,805	△ 1,768
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 711	△ 5,790	△ 1,671
現金及び現金同等物の期末残高	8,591	14,547	11,825
純資産	40,013	46,538	48,874
総資産	91,776	96,346	100,305
1株当たり純資産(円)	550.49	632.58	665.49
1株当たり年間配当額(円)	13	13	13
1株当たり当期純利益(円)	73.14	78.87	82.94
自己資本比率(%)	41.2	45.1	45.6
自己資本当期純利益率【ROE】(%)	13.1	13.3	12.8
総資産当期純利益率【ROA】(%)	8.3	10.9	9.3

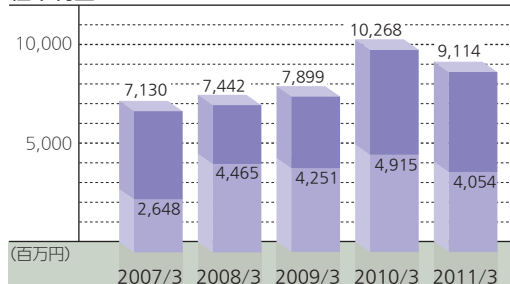
## 売上高



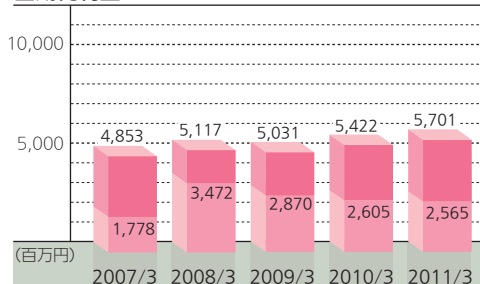
## 営業利益



## 経常利益



## 当期純利益



## 海外ネットワーク

### Europe

オランダ ●  
 英国 ●  
 ドイツ ●  
 ギリシア ●  
 イタリア ●  
 ノルウェー ●  
 スペイン ●  
 トルコ ●

### Middle East

U.A.E. ●

### Africa

南アフリカ ●  
 エジプト ●

### Asia

中国 上海 ●  
 広東 ●  
 その他 ●  
 香港 ●  
 台湾 ●  
 日本 ●  
 韓国 ●  
 シンガポール ●  
 マレーシア ●  
 タイ ●  
 インドネシア ●  
 フィリピン ●  
 ベトナム ●  
 インド ●  
 スリランカ ●

### Oceania

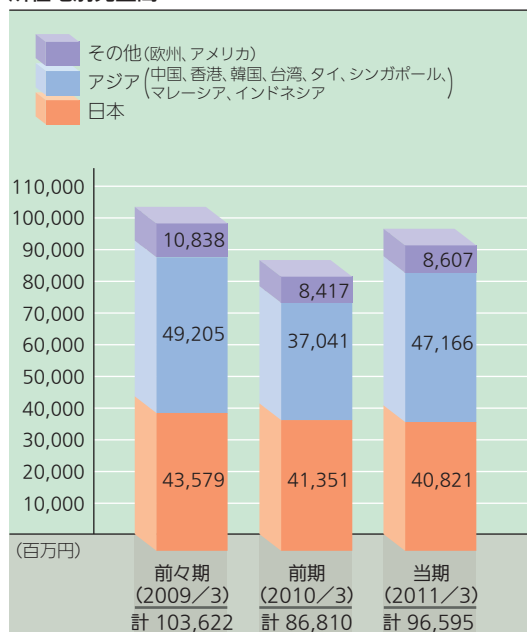
オーストラリア ●  
 ニュージーランド ●

### America

米国 ●  
 キュラソー ●

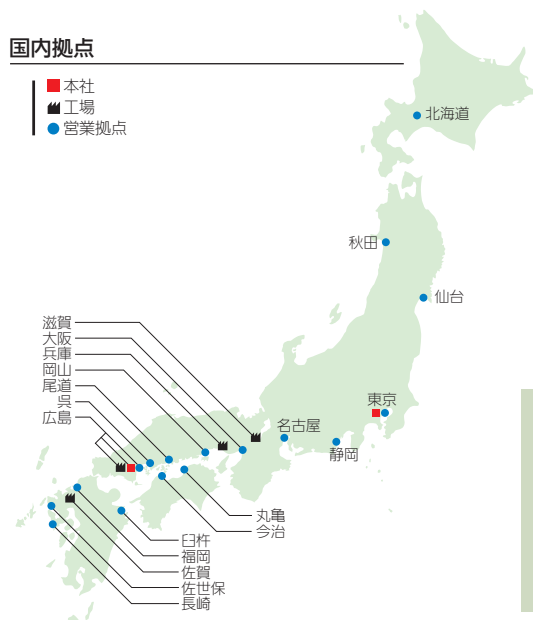
- 工場
- 事務所
- 技術供与先
- 販売代理店
- ◆ ストックポイント

## 所在地別売上高



## 国内拠点

- 本社
- 工場
- 営業拠点



### 環境対応製品

遮熱塗料(高日射反射率塗料)

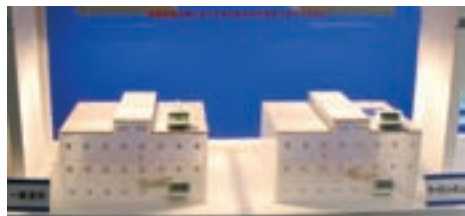
#### サーモシャダン

#### 優れた遮熱効果で省エネに貢献

太陽光に含まれる赤外線を効率よく反射させ、建造物の屋内温度上昇を抑制する「サーモシャダン」は、空調負荷の軽減により省エネ効果を実現します。また、屋根や壁面の表面温度の上昇も抑制するので、ヒートアイランド対策などにも効果があります。



同色の一般塗料とサーモシャダンとの照射比較実験。一般塗料に比べ、サーモシャダンは、試験体の表面、内面ともに温度上昇を抑制しています。



一般塗料	サーモシャダン
49.1℃	(表面温度) 39.8℃
35.8℃	(内面温度) 32.9℃

(色: グレー/N6)

#### 水系塗料「スワン HB L」の拡販

当社は船舶の居住区やエンジンルームなどの塗装に最適な「スワン HB L」の拡販を行っています。「スワン HB L」は大気汚染の一因であるVOCの低減に加え、狭隘区域での安全性の向上を考慮した水系塗料です。



#### 塩化ゴム樹脂系塗料の廃止

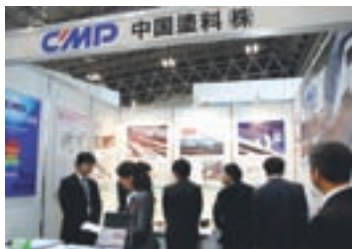
当社は環境への配慮から、2012年3月をもって塩化ゴム樹脂系塗料を廃止(既契約船を除く)することとし、代替製品への切替えを推進しています。

塩化ゴム樹脂系塗料は、船舶の暴露部を中心に主に国内で使用されていますが、環境問題や、船のリサイクル時の廃塗膜処理問題などから、世界的には他の塗料を使用することが主流となってきております。



## 展示会への出展

日本および海外において展示会に出展し、船舶用塗料や工業用塗料など当社が得意とする高機能製品のアピールを行いました。今後もさらなる展開を図るべく、積極的に営業・広報活動を行ってまいります。



鉄道技術展  
11月10～12日  
(幕張)



ジャパン  
インターナショナル  
ボートショー2011  
3月3～6日  
(横浜)



2011  
中国(北京)国際  
塗料博覧会  
3月10～12日  
(中国/北京)

## 製品情報WEBサイト刷新

2011年3月、当社ホームページの「製品情報」を全面リニューアルいたしました。今後とも、ユーザーの皆様にとって使いやすいサイト作りに取り組んでまいります。



URL: <http://www.products-cmp.jp>



連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目		前期 (2010年3月31日現在)	当期 (2011年3月31日現在)	
資産の部	流動資産	現金及び預金	14,767	12,412
		受取手形及び売掛金	35,302	41,758
		有価証券	399	607
		商品及び製品	7,798	7,973
		仕掛品	410	390
		原材料及び貯蔵品	4,621	5,793
		繰延税金資産	1,024	826
		その他	697	1,097
		貸倒引当金	△ 952	△ 789
		流動資産合計	64,068	70,070
	固定資産	有形固定資産		
		建物及び構築物(純額)	6,314	6,593
		機械装置及び運搬具(純額)	2,541	2,980
		土地	13,164	13,131
		その他(純額)	2,374	778
		有形固定資産合計	24,394	23,484
		無形固定資産	841	878
		投資その他の資産		
		投資有価証券	5,823	4,708
		繰延税金資産	268	453
		その他	1,000	756
		貸倒引当金	△ 50	△ 46
		投資その他の資産合計	7,042	5,872
固定資産合計	32,278	30,235		
資産合計	96,346	100,305		
負債の部	流動負債	支払手形及び買掛金	12,976	17,368
		短期借入金	20,659	19,529
		一年内返済予定の長期借入金	1,819	1,147
		未払金	2,590	3,097
		未払法人税等	2,893	1,225
		賞与引当金	89	93
		製品保証引当金	188	105
		その他	2,906	2,577
		流動負債合計	44,124	45,145
		固定負債	長期借入金	1,182
	長期未払金		295	293
	繰延税金負債		181	32
	再評価に係る繰延税金負債		3,026	3,026
	退職給付引当金		596	604
	その他		400	408
	固定負債合計		5,683	6,285
	負債合計	49,808	51,431	
純資産の部	株主資本	資本金	11,626	11,626
		資本剰余金	7,783	7,783
		利益剰余金	25,739	30,547
		自己株式	△ 194	△ 201
		株主資本合計	44,954	49,756
	その他の包括利益	その他の有価証券評価差額金	535	47
		土地再評価差額金	3,168	3,168
		為替換算調整勘定	△ 5,170	△ 7,228
		その他の包括利益累計額合計	△ 1,466	△ 4,011
		少数株主持分	3,049	3,129
純資産合計	46,538	48,874		
負債及び純資産合計	96,346	100,305		

受取手形及び売掛金

売上の増加により、前期末に比べ64億5千6百万円増加しました。

たな卸資産

売上の増加に伴い、前期末に比べ13億2千6百万円増加しました。

支払手形及び買掛金

売上拡大に伴う仕入増により、前期末に比べ43億9千2百万円増加しました。

連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	前期 (自2009年4月1日 至2010年3月31日)	当期 (自2010年4月1日 至2011年3月31日)
売上高	86,810	96,595
売上原価	56,833	67,751
売上総利益	29,976	28,844
販売費及び一般管理費	19,981	20,020
営業利益	9,995	8,823
営業外収益	888	832
受取利息	51	91
受取配当金	127	147
受取ロイヤリティー	73	76
技術指導料	140	137
その他	495	379
営業外費用	616	541
支払利息	351	267
為替差損	30	68
その他	234	204
経常利益	10,268	9,114
特別利益	7	201
固定資産売却益	6	5
投資有価証券売却益	0	112
貸倒引当金戻入額	—	61
製品保証引当金戻入額	—	19
その他	—	2
特別損失	136	288
固定資産売却損	4	0
投資有価証券評価損	124	257
その他	7	29
税金等調整前当期純利益	10,138	9,027
法人税、住民税及び事業税	4,060	2,596
法人税等調整額	△ 246	109
少数株主損益調整前当期純利益	—	6,320
少数株主利益	901	619
当期純利益	5,422	5,701

売上高

コンテナ用塗料の回復などにより、前期に比べ97億8千5百万円増加しました。

営業利益

原材料価格の上昇により、前期に比べ11億7千1百万円減少しました。

経常利益

営業利益の減少を受け、前期に比べ11億5千3百万円減少しました。

当期純利益

税金費用の減少により、前期に比べ2億7千9百万円増加しました。

連結株主資本等変動計算書

当期(自2010年4月1日 至2011年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額				少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証 券評価差額金	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	その他の 包括利益 累計額合計		
前期末残高	11,626	7,783	25,739	△ 194	44,954	535	3,168	△ 5,170	△ 1,466	3,049	46,538
当期中の変動額											
剰余金の配当			△ 893		△ 893						△ 893
当期純利益			5,701		5,701						5,701
自己株式の取得				△ 6	△ 6						△ 6
株主資本以外の 項目の当期中の 変動額(純額)						△ 487		△ 2,057	△ 2,545	79	△ 2,465
当期中の変動額合計	—	—	4,807	△ 6	4,801	△ 487	—	△ 2,057	△ 2,545	79	2,336
当期末残高	11,626	7,783	30,547	△ 201	49,756	47	3,168	△ 7,228	△ 4,011	3,129	48,874

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	前期	当期
	(自2009年4月1日 至2010年3月31日)	(自2010年4月1日 至2011年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	10,138	9,027
減価償却費	1,605	1,680
のれん償却額	21	21
貸倒引当金の増減額(減少:△)	317	△ 89
退職給付引当金の増減額(減少:△)	△ 72	16
その他引当金の増減額(減少:△)	53	△ 64
受取利息及び受取配当金	△ 179	△ 238
支払利息	351	267
為替差損益(差益:△)	△ 4	87
投資有価証券売却損益(益:△)	△ 0	△ 112
投資有価証券評価損益(益:△)	124	257
会員権評価損	7	—
固定資産売却損益(益:△)	13	31
売上債権の増減額(増加:△)	2,825	△ 8,683
たな卸資産の増減額(増加:△)	3,501	△ 2,183
未払又は未収消費税等の増減額	45	△ 116
仕入債務の増減額(減少:△)	△ 655	5,157
割引手形の増減額(減少:△)	△ 2,516	—
その他	874	644
小計	16,453	5,705
利息及び配当金の受取額	178	238
利息の支払額	△ 359	△ 272
法人税等の支払額	△ 1,982	△ 4,418
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>14,290</b>	<b>1,252</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△ 648	△ 3,520
定期預金の払戻による収入	87	3,120
固定資産の取得による支出	△ 2,176	△ 1,341
固定資産の売却による収入	43	8
有価証券の純増減額(増加:△)	—	△ 249
投資有価証券の取得による支出	△ 110	△ 21
投資有価証券の売却による収入	1	230
その他	△ 3	5
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 2,805</b>	<b>△ 1,768</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(減少:△)	△ 4,503	△ 471
長期借入れによる収入	—	1,900
長期借入金の返済による支出	△ 149	△ 1,833
自己株式の売却による収入	0	—
自己株式の取得による支出	△ 7	△ 6
配当金の支払額	△ 892	△ 893
少数株主への配当金の支払額	△ 262	△ 312
少数株主からの払込みによる収入	76	—
その他	△ 51	△ 53
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 5,790</b>	<b>△ 1,671</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	260	△ 535
現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	5,955	△ 2,721
現金及び現金同等物の期首残高	8,591	14,547
現金及び現金同等物の期末残高	14,547	11,825

### 営業活動によるキャッシュ・フロー

売上債権の増加などにより、前期に比べ130億3千7百万円減少しました。

### 投資活動によるキャッシュ・フロー

固定資産の取得減などにより、前期に比べ10億3千6百万円増加しました。

### 財務活動によるキャッシュ・フロー

短期借入金純増額の縮小により、前期に比べ41億1千9百万円増加しました。

### 現金及び現金同等物の期末残高

前期末に比べ27億2千1百万円減少しました。

創 立	1917年(大正6年)5月
資本金	11,626,085,606円
本 社	東京本社 東京都千代田区霞が関三丁目2番6号 広島本社 広島県大竹市明治新開1番7 (本店登記地)

## CMPグループの概況

CMPグループは中国塗料株式会社(当社)およびその子会社25社により構成されており、塗料製品の製造、販売を主な事業としているほか、これらに付帯するサービス業務等を営んでおります。

塗料関連事業(国内)	(計8社)
当社、大竹明新化学(株)、神戸ペイント(株)、文正商事(株)、 グローバル・エンジニアリング・サービス(株)、 中国塗料長崎販売(株)、中国塗料技研(株)、三陽興産(株)	

塗料関連事業(海外)	(計15社)
CHUGOKU MARINE PAINTS (Hong Kong), Ltd. CHUGOKU MARINE PAINTS (Shanghai), Ltd. CHUGOKU MARINE PAINTS (Guang Dong), Ltd. CHUGOKU SAMHWA PAINTS, Ltd. CHUGOKU MARINE PAINTS (Singapore) Pte., Ltd. CHUGOKU PAINTS (Malaysia) Sdn.Bhd. CHUGOKU PAINTS B.V.	
	その他8社

その他の事業	国内(計4社)
当社、(株)シーエムピー企画、中国ソフト開発(株)、 ヤス運送(株)	

## 役 員

(2011年7月1日予定)

取締役		
代表取締役会長	山住	哲夫
代表取締役社長	植竹	正隆
専務取締役	木戸	久雄
専務取締役	船田	昌平
取締役	廣中	茂美
取締役	宮内	光明
取締役	長谷川	博
取締役	尾野	眞史
取締役	河添	正雄
取締役	土井	常雄
取締役	三好	秀則

## 監査役

常勤監査役	宮原	忠之
常勤監査役	伊達	満
監査役	浦部	善教
監査役	岡田	弘

(注)監査役 浦部善教、岡田弘の両氏は社外監査役であります。

## 執行役員

上席執行役員	近藤	俊昭
上席執行役員	吉野	實
執行役員	鬼石	康之
執行役員	増田	章

## CMPグループ従業員の状況

事業区分		従業員数(名)
塗料関連事業	国内	640 (115)
	海外	1,728 (50)
小 計		2,368 (165)
その他の事業	国内	27 (9)
全 社(共通)	国内	37 (5)
総 計		2,432 (179)

※カッコ内は派遣社員および臨時社員の期中平均人数

# 株式の状況

(2011年3月31日現在)

## 株式の総数および株主数

発行可能株式総数 277,630,000 株

発行済株式総数  
(自己株式を含む) 69,068,822 株

自己株式 330,710株

株主数 5,264 名

## 大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	構成比(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	4,278	6.22
三菱商事株式会社	3,901	5.68
株式会社広島銀行	3,417	4.97
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー 505223	3,321	4.83
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,797	4.07
ノーザントラストカンパニー(エイイefin)サブアカウントアメリカンクライアント	2,576	3.75
明治安田生命保険相互会社	2,000	2.91
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,553	2.26
ザチェスマンハッタンバンクエヌエイロンドンエスエルオムニバスアカウント	1,347	1.96
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	1,292	1.88

※構成比は自己株式を控除して計算しています。

## 個別決算の概要

### 要約貸借対照表

(単位：百万円)

科目	前期	当期
	(2010年3月31日現在)	(2011年3月31日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産	26,235	27,646
固定資産	37,802	36,392
資産合計	64,037	64,038
<b>負債の部</b>		
流動負債	25,384	22,845
固定負債	4,873	5,436
負債合計	30,257	28,282
<b>純資産の部</b>		
株主資本	30,084	32,546
資本金	11,626	11,626
資本剰余金	7,783	7,783
利益剰余金	10,869	13,337
自己株式	△ 194	△ 201
評価・換算差額等	3,695	3,210
その他有価証券評価差額金	526	41
土地再評価差額金	3,168	3,168
純資産合計	33,780	35,756
負債及び純資産合計	64,037	64,038

### 要約損益計算書

(単位：百万円)

科目	前期	当期
	(自2009年4月1日 至2010年3月31日)	(自2010年4月1日 至2011年3月31日)
売上高	40,087	39,537
売上原価	27,985	28,534
売上総利益	12,102	11,002
販売費及び一般管理費	9,742	9,922
営業利益	2,359	1,080
営業外収益	2,759	3,627
営業外費用	391	413
経常利益	4,727	4,294
特別利益	4	115
特別損失	125	286
税引前当期純利益	4,605	4,123
法人税、住民税及び事業税	1,950	750
法人税等調整額	△ 197	11
当期純利益	2,852	3,361

## 株主メモ

■ 事業年度	4月1日～翌年3月31日
■ 定時株主総会開催時期	毎年6月
■ 同総会議決権行使基準日	毎年3月31日（その他必要ある場合は、あらかじめ公告します。）
■ 配当	期末配当金受領株主確定日 3月31日 中間配当金受領株主確定日 9月30日
■ 公告掲載	日本経済新聞 貸借対照表および損益計算書を当社ホームページに掲載しております。(http://www.cmp.co.jp/)
■ 株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
■ 特別口座の口座管理機関	
■ 関連絡先	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
■ 郵便物送付先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎0120-232-711

- 【ご注意】 1、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2、特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 3、未受領の配当金につきましては三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

### ■ 株式に関するお手続きについて

	お手続き、ご照会等の内容		お問合せ先
特別口座に記録された株式	○特別口座から一般口座への振替請求 ○単元未満株式の買取（買増）請求 ○住所・氏名等のご変更 ○特別口座の残高照会 ○配当金の受領方法のご指定（※）	特別口座の 口座管理機関	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎0120-232-711  【手続き書類のご請求方法】 ○音声自動応答電話によるご請求 ☎0120-244-479 ○インターネットによるダウンロード http://www.tr.mufig.jp/daikou/
	○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○株式事務に関する一般的なお問合せ	株主名簿 管理人	

（※）特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びできません。

証券会社等の 口座に記録 された株式	○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○株式事務に関する一般的なお問合せ	株主名簿 管理人	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎0120-232-711
	○上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問合せください。	

# CMP 通信

## 2011年3月期 報告書

2010年4月1日～2011年3月31日

社 名 中国塗料株式会社  
 英文社名 CHUGOKU MARINE PAINTS, LTD.  
 東京本社 〒100-0013 東京都千代田区霞が関三丁目2番6号  
 ☎ 0120-70-4931 (しきさい/色彩)  
 広島本社 〒739-0652 広島県大竹市明治新開1番7  
 ☎ 0120-75-4931 (しきさい/色彩)  
 ホームページ http://www.cmp.co.jp/

